

令和2年度事業報告について

当事業団では、児童・青少年の福祉の増進を図るため令和元年度事業として、本部、さぬきこどもの国、五色台事業所、屋島事業所の各事業所において、次の事業を実施した。

1. 本部

(1) 管理的経費

199 千円

① 理事会及び評議員会の開催

会の名称	開催年月日	開催場所	主要議題
令和2年度 臨時評議員会	4月1日	※みなし決議	・評議員の選任
第111回 理事会	6月2日	香川県社会福祉 総合センター	・令和元年度事業報告 ・令和元年度収支決算 ・定時評議員会の招集
令和2年度 定時評議員会	6月19日	※みなし決議	・令和元年度事業報告 ・令和元年度収支決算 ・理事・評議員の選任
第112回 理事会	6月19日	※みなし決議	・理事長・常任理事の選任
第113回 理事会	3月18日	香川県社会福祉 総合センター	・令和2年度収支補正予算 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算 ・資産運用計画 ・評議員会の目的である事項

公3 子育てしやすい環境づくり推進のための子育て支援事業

(2) 基金事業

基金（5億円）の運用益により、地域における子育て支援や児童の健全育成の推進を目的として、下記の事業を実施した。

① 情報提供事業

地域子育てサポート事業	402 千円
<p>妊娠から出産、子どもの成長にあわせた子育て支援情報誌を発行し、乳幼児健康診査時などに、母子愛育会や民生委員・児童委員など地域の子育てボランティアの協力を得て、保護者に手渡すことにより、地域の子育て支援の充実を図った。</p> <p>○情報誌の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご存知ですか？子育て支援サービス「みんな子育て応援団」 <p>約8,500世帯に配布</p>	

子育て支援事業

2,776 千円

子育て家庭が気軽に子育て支援に関する情報に接することができるよう、食育や運動、小児科医のコラム、イベント情報等、子育てに関する情報を掲載した情報誌を、県内保育所、幼稚園、小学校等を通じて子育て家庭へ配布した。

- みんな子育て応援団かわら版「かがわ Kid's club」の発行
発行：年 3 回（令和 2 年 7 月、11 月、令和 3 年 3 月）
発行部数：各 150,000 部

② 環境づくり事業

臨時託児室設置促進事業

53 千円

講座や研修会、イベント等を開催する際に、臨時の託児室を設けるための経費の一部を助成することにより、子育てと社会参加が両立できる環境づくりの推進を図った。また、利用を促進するため、イベント主催者等からの問い合わせに対し、託児団体の情報の提供を行った。

- 助成の概要
 - ・助成額 3 万円/団体（上限額）
 - ・助成対象団体 営利を目的とせずにイベント等を開催する主催者（子育てサークル、団体等）
 - ・令和 2 年度助成団体 延べ 2 団体
※他 4 団体はイベントの中止、託児室設置の取りやめ

地域子育て支援事業

0 千円

香川県内の子育て支援団体が集合し、子育て家庭へ向けて団体の活動を紹介するとともに、それぞれの団体との交流促進を図る機会とするための子育て支援イベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 法人税等諸経費

20 千円

2. さぬきこどもの国

子どもたちに魅力的な遊びや創造的活動の場、科学に親しむ場を提供し、児童の健全育成及び子育て支援活動の活性化を図った。

公1 さぬきこどもの国の管理・運営その他児童・青少年の健全育成事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
令和2年3月4日～4月19日 臨時休館（サイクルセンターを除く）
令和2年4月21日～5月31日 全面休館
令和2年6月2日再開

団体利用の休止、エリアごとの人数制限や利用方法の変更等あり。
駐車場の台数制限（～令和2年10月30日）

(1) 管理運営事業 309,289千円

さぬきこどもの国の施設・設備等の維持管理を行った。児童館展示物や屋外遊具の修繕を行い、来園者の安全性や利便性の向上を図った。

また、イベントの開催を希望するNPO法人等の団体にこども劇場や研修室を貸し出して、施設の利用促進を図った。

以前より利用者から要望が多かった飲食・休憩スペースの拡充対応策として、業者が撤退したミュージアムショップ跡を「休憩コーナー」として活用し、利用者サービスの充実を図った。

県内だけでなく、県外からの来園者に向けた施設PRや、在住外国人来園者等に対応できるよう、引き続き香川県観光協会に加盟し、会員として受けられる各種サービスを活用し利用者サービスの充実に努めた。

また、空港周辺施設と連携して幅広い年齢層の利用促進や賑わいづくり等を推進するため、「高松空港周辺施設連絡会」を設け、その事務局を担い、情報交換や共有、次年度以降の取組み等について協議等を行った。

(2) 育成事業 45,070千円

① 企画事業

令和2年度は、開園25周年という記念すべき年であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ゴールデンウィークイベントを始め、大型イベントは全て中止となった。25周年記念式典は、当初予定していた時期から大きくずれることにはなったが、8月に実施し、知事・議長に出席いただくことができた。その他、コロナ禍の中での企画事業の新しい形として、オンライン上でのイベント「オンラインサイエンス」「おうちから児童館VR」「オンライン台湾旅行」等の実施や、テレビ配信での七夕イベント等、他者との接触を極力少なくしたイベントを開催した。また下半期は、企画事業の参加人数を分けるために複数回開催することで、少しでも多くの方に参加していただけるように工夫し、造形遊びやコンサート、講演会等の企画を行

い、好評を得た。

三世代が楽しめる企画として、お盆の行事を紹介する「お盆ってなあに？」や、スペースシアター内で「新春三味線ショー」等を開催。屋外を利用した企画として、西ウイングで日食の観望会やダンスイベント、芝生広場でジャズコンサート等を実施した。その他、平成29年度から芝生広場で行っている「わんぱくキッズ」は上半期に続き下半期も行い、外遊びの楽しさを伝えた。

企画事業の日程は別紙「令和2年度 企画事業等実施報告」のとおり。

② スペースシアター運営事業

平成31年4月の光学式投影機とプロジェクター設備のリニューアルを受けて、星空の生解説に力を入れた他、宇宙やオーロラの映像美を感じることができる番組の上映を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場者数を定員の半数以下に制限し、手指消毒やマスクの着用を必須とした。

また、「アポロ計画」や「HAYABUSA」など宇宙開発をテーマとした講演会と番組の上映を行った他、スペースシアターを初めて体験する小さな子どもたちに向けて、「キッズプラネタリウム」を開催し、幅広い年齢層が楽しめるよう工夫した。

○ プラネタリウム一般番組

プラネタリウムの星空とCG映像を組み合わせた、星と宇宙に関する下記番組を上映した。上映時間40分（星空解説を含む）

対象	番組名	投影期間	内容
一般	それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～	令和元年12月 ～ 令和2年度	きれいな夕焼けを描くゆうやけまんは、いつも絵筆をふるってきれいな夕焼けを見せてくれます。そのころ、ホラーマンから星にはいろんな色があることと、空はいろんな色に変わることを教わるドキンちゃん。 「空の色を自由にしたい！」といつものワガママを言い出します。
	しまじろうとながれぼしのねがいごと	令和2年6月 ～ 令和2年度	満天の星空に流れ星を見つけて喜ぶ4人。そこに彗星の妖精セセが助けを求めてやってきます。どうやら双子のお兄さんススが小惑星に挟まって困っているようです。しまじろうたちは、無事ススを救い、流れ星に願い事をすることはできるのでしょうか？
	ポケットモンスター オーロラからのメッセージ	令和2年9月 ～ 令和2年度	サトシとゴウは、サクラギ研究所のリサーチフェローとしてスイクンとオーロラの間を調査するため、オーロラビレッジへと向かう。そこにはオーロラ研究者を父に持つ少女エマや、雪原で暮らすたくさんのポケモンたちとの出会いが待っていた。そんなサトシたちの前に、ピカチュウをゲットしようとロケット団が現れ

一般			る。果たして無事にオーロラへたどり着き、スイクンに出会うことができるのでしょうか！？
	時を刻むこの星空 with DREAMS COME TRUE	令和2年6月 ～ 令和3年1月	テーマは“星を知ろうとした人々の想い”。昔から人々は夜空を見上げ、星空に魅了されてきました。それは、旅の道しるべとして、そして、時には人生の道しるべとして私たちを導いてきたからに違いありません。本作は、人々の持つ普遍的な星空への想いを描く、プラネタリウムの原点回帰ともいえる作品です。
	ハナビリウム ～花火って、なんであるの？～	令和2年7月 ～ 令和2年度	花火の真下！奇跡の実写映像。現役の花火師が試行錯誤の末、全く新しいプラネタリウムを誕生させました。400年以上にわたって花火に込められてきた文化と歴史の物語が、主人公「ヒバナ」の成長を軸に紐解かれる、世代を超えて大切なことを学べる作品です。
	アポロストーリー 月への挑戦	令和2年10月 ～ 令和2年度	1969年、アポロ11号が月面着陸に成功。月面着陸までには様々な試行錯誤が行われ、月面着陸成功後もアポロ計画は続行。人類の月への挑戦は終わらない。
	ヒーリングアース	令和3年2月 ～ 令和2年度	南米・ウユニ塩湖の湖面が鏡のように映し出す星空、北欧・スヴァールバル諸島の極夜に現れる色彩が変幻自在に変化するオーロラ、ハワイ島にある国立天文台すばる望遠鏡の超高解像度カメラHSCが捉えた高精細な星々の姿 全てを20K以上の実写画像を基に映像化した究極のヒーリング科学番組。
	プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている	令和2年8月 限定上映	地球は回っている？それに気づいたのはだれ？ふと疑問に感じたまる子。もっと地球や宇宙の事を知りたいと思ったまる子たちは科学館へ遊びに行くことに。
	こぐま座のティオ 星空だいぼうけん	令和元年4月 ～ 令和2年度	こぐま座のティオと一緒に、春夏秋冬の星座のお友だちと力を合わせて天の川のピンチを助けに行く。クイズに挑戦したり、みんなで歌を歌いながら大冒険に出かける参加型の作品。
	さぬきこどもの国 オリジナルプラネタリウム番組 さぬきから宇宙へ	平成22年3月 ～ 令和2年度	香川県が制作した番組。スペースシアターを飛び出し、宇宙の果てまで旅をする。デジタルプラネタリウムならではの工夫と効果が満載の作品。
	さぬきこどもの国 オリジナルプラネタリウム番組 ほしのおもいで	平成22年3月 ～ 令和2年度	香川県が制作した番組。男の子とおばあさんの会話から、香川県の歴史や思い出をたどる作品。

○プラネタリウム学習番組

分かりやすく、楽しく宇宙について学べる下記番組を上映した。上映時間40分（星空解説を含む）

対 象	番 組 名	投 影 期 間	内 容
幼児 小学校 低学年	あひるのガックン おほしさまの せかいへ	平成22年3月 ～ 令和2年度	星の世界へやってきたあひるのガックン。 わがままなガックンが、星の世界の妖精や星座 達に助けられ、思いやりの気持ちが芽生える作 品。
	ほしのくにで みつけた たからもの	平成23年5月 ～ 令和2年度	病気のキキを助けるため、主人公のたっくんが こぐま座のアルとともに、どんな病気でも治る 不思議なミルクを探しに星の国へ向かうファン タジー作品。
	サラの ねがいごと	平成25年4月 ～ 令和2年度	主人公サラは日照り続きで今にも枯れそうなア ジサイを助けるため、「くも」と「かぜ」と「カ ミナリ」に力を借りて、雨を降らそうとする。
	ケンタのほしさがし ～イルカのドルと だいぼうけん～	平成26年4月 ～ 令和2年度	ケンタの姉は星が大好き。だけど姉と遊びたい ケンタは「星なんか無くなればいいんだ」と言 ってしまう。すると、空に輝いていた星が全部 隠れてしまったので、イルカのドルといっしょ に、星を探しに行く作品。
小学校 中学年	宇宙クイズ王選手権 ～ダークキングからの 挑戦状～	平成25年4月 ～ 令和2年度	カズキは宇宙クイズで、ダークキングに勝たな ければ太陽が奪われてしまう。ちょっと頼りな いお助けキャラ「コスモ」の力を借りて、ダーク キングに勝負を挑むクイズ形式の作品。
	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 月と星のひみつ	平成22年3月 ～ 令和2年度	香川県が制作した番組。さぬきこどもの国のキ ャラクターの「たいようくん」と「きらりちゃん」 を起用。 さぬきこどもの国の竜神様の魔法を使い、月の 形の変化をはじめ、月と星について学ぶ作品。
小学校 高学年	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 対決！月VS太陽	平成22年3月 ～ 令和2年度	香川県が制作した番組。さぬきこどもの国のキ ャラクター「たいようくん」と「きらりちゃん」 が、さぬきこどもの国の竜神様の魔法を使い、 月と太陽について学ぶ作品。
小学校 中学年 ～ 中学生	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 宇宙探偵 ロッキンハイム	平成22年9月 ～ 令和2年度	香川県が制作した番組。星空の宝石シリウスが ドクター・ゲイルに盗まれた。宇宙探偵ロッケ ンハイムが助手と共に宇宙の謎を解き、シリウ スを取り戻す。物語を楽しみながら知識を身に つけることができる作品。

○ 全天周映像番組

大迫力の全天周映像で、宇宙や恐竜について学べる下記番組を上映した。上映時間は各30～40分

対 象	番 組 名	投 影 期 間	内 容
一般	名探偵コナン ～灼熱の銀河鉄道 (キャラクターレポート)～	令和2年6月 ～ 令和2年度	宮沢賢治の世界を再現したテーマパーク、イーハトーブワールドの銀河鉄道列車に乗ることになったコナンたち。幻想的な星空の世界を満喫していると突然、キッドからの予告状が届く。繰り広げられる、キッドとのお宝争奪戦！しかしそこには思いもしない罠が仕掛けられていた。
	新・恐竜大進撃	令和2年7月 ～ 令和2年度	恐竜たちのサバイバルバトルが、超高精細で制作されたCGでよみがえります！！恐竜の誕生から繁栄、絶滅まで、子どもたちに楽しく、わかりやすく紹介する全天周番組の登場です！
	ロビンソン・クルーソー	令和2年7月 ～ 令和2年度	船が難破してしまったロビンソン・クルーソーは、美しい無人島に漂着。そこは不思議な島。クルーソーは少しずつ島の動物たちと心を通わせ、サバイバル生活に挑みます。彼らの運命はいかに！？
	えんとつ町のプペル (3ヶ月限定上映)	令和2年10月 ～ 令和2年12月	4,000メートルの崖にかこまれ、そこの世界を知らない町がありました。あるとき、夜空をかける配達屋さんが、煙をすってせきこんで、配達中の心臓を、うっかり落としてしまいました。えんとつ町のはずれのゴミ山で、ドクドクあばれる心臓に、ゴミがあれこれくっついて、とつてもくさいゴミ人間が生まれたのです…。
	HAYABUSA2 ～REBORN	イベントにて 2日間限定上映	イトカワとは違うタイプの小惑星リュウグウ。そこには大変な困難が待ち受けていました。様々なミッションに立ち向かうはやぶさ2の姿を、臨場感たっぷりに描き出します。

③ 工房等運営事業

工 房 名	事 業 内 容
美 術	紙コップや画用紙、布など身近な素材を使って作る工作やミニイベント「だれでもアート」を実施した。年齢によって様々な工夫が見られ、制作過程を楽しめるプログラムとなった。
科 学	音や熱、化石等をテーマにした工作を実施した。ミニイベント「わくわくサイエンスタイム」では、通常プログラム（工作）とテーマを合わせて実施し、より科学の不思議に迫れるよう内容の充実を図った。また、工房に設置している水槽を淡水魚、海水魚にわけて魚の種類を増やす等、いきものコーナーを充実させた。
音 楽	乳幼児向け音楽イベント「ごきげんパーク♪」や様々な音楽活動が楽しめる「わくわくミュージックタイム」、県内で音楽活動をしている団体を出演者として招き、パフォーマンスを楽しむ「ときめき☆SHOW TIME」を行った。
コンピュータ	学校の教科書に合わせた国語や算数等の学習ソフトを提供した。

④ こども劇場運営事業

子どもたちの健やかな心身の発達を促す運動遊びや親子遊び、管楽器のコンサート等の企画の実施や備品、投影システム等のメンテナンスを定期的に行った。令和3年1月～3月は「こども劇場舞台照明設備」及び「巻上げ機構（吊り物）」の改修工事（香川県発注）のため使用を中止した。

⑤ 科学体験ゾーン等運営事業

・遊びコーナー運営

「宇宙」をテーマとする「月面探査」「ジャイロ効果」「ケプラーの法則」「宇宙服」等の展示物と冒険的な要素を持ったネットやチューブ等を利用した複合遊具「スカイネット」を提供した。木の玉プールは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を休止した。

・科学体験コーナー運営

巨大なジェットエンジン等の展示物、飛行機モビール、鳥や飛行機が飛ぶ原理等を遊びながら理解できる科学体験装置等を通して、想像力と創造性に富んだ遊びや科学体験のできる場を提供した。

・幼児コーナー運営

木と触れ合う「木育」を通じて、子どもや保護者に木への愛着や魅力を感じてもらえる場所として、香川県産ヒノキを使用した「とんがりすべりだい」、乳幼児と保護者が木のおもちゃで一緒に遊べる「もくもくのへや」の環境整備を行った。

⑥ ギャラリー運営事業

概ね3か月毎にテーマを設け、遊びの文化や日本の伝統行事を紹介する展示等、子どもから大人まで楽しめる展示を行った。また、さぬきこどもの国のイベント情報等を展示するとともに、絵本の閲覧やおもちゃで遊ぶコーナー等、ギャラリー機能の充実を図りながら情報の発信に努めた。

⑦ 屋外施設運営事業

・サイクルセンター運営

サイクリング自転車・マウンテンバイク自転車・変わり種自転車の貸出業務を行った。人気のある施設であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の消毒のため、利用台数を制限した。

・YS-11型航空機展示場運営

戦後、日本のメーカーが開発した初の旅客機であるYS-11型航空機の機内公開を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限をしていたが、多くの子どものみならず、大人たちも操縦席に座り、パイロット気分を味わっていた。

・琴電車両60形62号展示場運営

戦前・戦後にわたり、日本一長い年数走り続けた電車である琴電車両60形62号の車内公開を行った。座席に座り、乗車気分を味わうだけでなく、運転席に座り、車内アナウンスや運転手気分を味わう姿が見られた。

・芝生広場運営

子どもたちのくつろぎの場や屋外の飲食スペースとして提供するとともに、「集まれ！！わんぱくキッズ」等の各種行事を行った。また、春から秋にかけて多くの子どもたちが水遊びを楽しむミルキーウェイ（流水路）は、コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を休止した。

(3) 支援・啓発事業

6,938千円

本県の児童健全育成に係る中核的な施設として、県内の子育て支援に携わる人を対象とした研修会を開催したり、県内児童館の活性化を図る事業を実施した。

① 児童館運営支援事業

子どもの健全育成や子育て支援に関わる支援者を対象とした研修会を開催し、子育て支援のあり方などについて学び、支援者としての資質向上を図った。県内児童館活動の活性化を目的に活動経費の一部を助成する「児童館活動サポート事業」や、児童館、子育て支援施設等の遊びの充実を図ることを目的に遊びの道具を貸し出す「あそびのサポート事業」を行った。また、香川県児童館連絡協議会事務局の運営を行った。

(児童館職員等研修会の開催状況)

回	開催日	場 所	対 象	内 容
1	6月30日(火) 9:15~12:30	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童館職員等	令和2年度第1回香川県児童館職員等研修会 「児童館論Ⅰ」「児童館論Ⅱ」 講師：(一財)児童健全育成推進財団 事業部課長 宍網 良 (28人)
2	10月21日(水) 10:00~12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童厚生員等	令和2年度第2回香川県児童館職員等研修会 (スキルアップ研修会) 「コロナ禍における児童館の現状と課題 ～愛媛県の事例より～」 講師：えひめこどもの城 上木 秀美 (20人)
3	11月17日(火) 9:30~11:30	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童厚生員等	令和2年度第3回香川県児童館職員等研修会 「配慮を要する児童の対応 ～子どもたちのイイトコロを見つけよう!～」 講師：アルプスかがわ 新井 隆俊 (20人)
4	1月27日(水) 10:00~12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童館職員等	令和2年度第4回香川県児童館職員等研修会 「科学あそび(ゲーム・運動あそび)」 講師：ニコニコ科学研究所 代表 高木 崇安 (19人)
5	3月3日(水) 10:00~12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童厚生員等	令和2年度第5回香川県児童館職員等研修会 「個別援助活動」 講師：香川県スクールソーシャルワーカー協会 副会長 藤澤 茜 (17人)

(支援者研修会開催状況)

回	日時	場所	対象	内容
1	6月20日(土) 10:00~12:00	さぬきこどもの国 研修室	県内の 子育て支援に 携わる方	「えほんの世界から。。。 ～パクパク人形をつくろう～」 講師：柴田 ケイコ (絵本作家) (13人)
2	7月17日(金) 10:00~12:00	さぬきこどもの国 こども劇場	県内の 子育て支援に 携わる方	「翔くんと学ぼう！あそび・うた・ダンス！」 講師：福田 翔 (あそび歌作家) (19人)

② ボランティア事業

ボランティアの募集・登録については、随時募集を行い意欲的な人材の確保を行った（既登録者数90人）。また、作品制作や絵本の読み聞かせを中心とした自主企画等を行った。

さぬきこどもの国のボランティア活動の活性化や活動の場を広げることを目的に、ボランティア自身が企画した遊びを持って県内の児童館へ出向く「出張！わくティア事業」を3回実施した。また、高校生を対象としたボランティア体験事業「高校生1DAYボランティア」を1回開催した。

③ 広報啓発事業

子育て支援や地域児童館に関する情報等を掲載した「さぬきこどもの国NEWS」を偶数月に発行し、県民に広く情報を周知した。発行部数については、平成28年度より県内の小学4年生にも配布することとし、各回10,000部増の40,000部ずつの発行とした。また、HPやFacebookに情報を掲載した他、積極的にマスコミへの情報提供にも努めた。

④ 調査研究・情報提供事業

調査研究事業は、数年に1回のペースで冊子を発行しているが、今年度はその準備期間として、遊びのプログラムの記録を行った。また、情報提供事業として、児童館2階の子育て支援団体の活動チラシの設置コーナーで家庭や支援者に対する情報提供を行った他、閲覧用図書等の充実に努め、定期的に入替を行った。

⑤ 相談事業

- ・子育て相談「はぐくみRoom」の開催（実施回数40回/相談人数44人）
臨床心理士による子育て相談活動を毎週土曜日に実施し、0才～18才までの子どもの保護者からの個別相談を受けた。
- ・子育て相談「はぐくみ広場」の開催（実施回数19回/相談人数116人）
助産師や栄養士による子育て相談活動を隔週木曜日に実施した。
- ・子育て相談事業「まめっこデー」の開催（実施回数2回）
乳幼児期の保護者を対象に、助産師さんによる遊び方の紹介や、相談の時

間を設けることで、その時期の子どもとの関わり方を学び、子どもとの良好な関係づくりを図った。

- ・子育て相談事業「親子で本気で遊ぶ！～思春期子育てとどう向き合うか～」の開催（実施回数1回）

思春期の親子を対象としたワークショップを通して、お互いの考えを認め、尊重し合うことで良好な関係づくりのきっかけとするとともに、専門家からの保護者向けのミニ講座も行い、思春期の子どもへの理解を深める機会とした。

- ・地域団体・子育て支援関係団体等と連携した相談事業の実施

毎月第2土曜日に「助産師のほっと相談室」を一般社団法人香川県助産師会と9回開催した。また、子どもの発達に不安を抱える保護者を対象に、相談者と同じ立場にあるペアレントメンターが相談や助言を行う「ペアメンCafé」を、NPO法人ペアレントメンターかがわと連携して2回開催した。

⑥ ネットワークづくり事業

さぬきこどもの国で実施している遊びのプログラムを持って県内の児童館、放課後児童クラブ、子育て支援施設等に職員が出向く「遊びの宅配便」を県内53か所で実施した。また、これまであまり児童館を利用したことがない層に対して児童館をPRする「動く！あそびパークin丸亀町グリーン」を、丸亀町グリーンけやき広場で2回実施した。その他、支援者向け事業として、当館職員が講師として出向く「支援者向け講師派遣事業～遊びについて考える会～」を県内6か所で実施した。

⑦ 子育て支援事業

親子で遊ぶ場を提供することにより、親子の関係づくりや親同士・子ども同士の交流を促進し、子育ての楽しさを実感できるように幅広く子育て支援事業を実施した。

- ・おやこあそびネットワーク事業

「おやこあそびParty☆」の開催（実施回数1回）

地域で親子遊びを主とする活動を行う子育て支援団体と協働で親子遊びのイベントを実施し、参加者に様々な親子遊びを提供するとともに、子育て支援情報や団体の活動内容を紹介した。

- ・「親子であそぼ！ぐう・ちょき・ばあ」の開催（実施回数19回）

スキンシップ遊びや制作等遊びのプログラムを通して、親子の良好な関係づくりを促した。

・「かぞく・ツナグ・あそび」の開催（実施回数7回）

「家族で遊びながら感じる、つながる」をテーマにしたイベントを実施した。家族と一緒に活動する中で、子どもの成長を感じ、子どもと過ごすかけがえのない時間に気づき、共通の話題を持つことで、親子や家族間のコミュニケーションを更に深めた。

・「だんらんtime」の開催（実施回数10回）

様々なカードゲームやボードゲームを提供し、親子や祖父母など世代間の交流を図る「だんらんtime」を毎月第2土曜日に開催した。

・「モクモクおもちゃ広場」の開催（実施回数2回）

香川県環境森林部みどり整備課との共催で、香川県産ヒノキでできた積み木やジャングルジム、木製ままごとセット等、色々な木のおもちゃで遊べる広場を実施した。

・「はぐくみ×カレッジ」の開催（実施回数3回）

地域の大学（3校）と協働で、親子のスキンシップが図れる遊びのプログラムを企画し実施した。

（はぐくみ×カレッジの開催状況）

回	日 時	共催大学	内容
1	12月5日（土） ①10:30～12:00 ②13:30～15:00	四国学院大学社会福祉学部 保育士養成コース	冬の運動フェスティバルをテーマに、自分で作ったボールを使ってボウリングや玉入れ等の遊びを実施した。 (①30人 ②22人)
2	2月6日（土） ①10:30～12:00 ②13:30～15:00	香川短期大学子ども学科	ヒーローをテーマに館内のゲーム（ボウリング、クイズ等）に挑戦し、最後はボスのへやでパズルをクリアするラリースタイルを実施した。 (①97人 ②144人)
3	3月14日（日） ①10:30～11:45 ②13:30～14:45	香川大学教育学部 幼児教育コース	世界旅行をテーマに、制作やゲーム遊び等、親子で楽しめるラリーを行った。 (①190人 ②163人)

収 1 さぬきこどもの国における自動販売機設置等事業

自主事業	収入	13,462千円
	支出	12,721千円

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休園や休館等により、来園者が激減したため、館内にある直営の喫茶コーナーについては営業時間の見直し等を行った。また、これまで公益事業の一環として行ってきたオムツ等衛生用品の販売を自主事業に移行し、それに併せ、以前より利用者から要望があった土産物販売を行うことにした。多様化する利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、利用者の利便性の向上に努めた。

令和2年度 企画事業等実施報告

令和2年度の企画事業について、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休園と、その後の感染予防の観点から、当初の計画とは大幅に内容を変更して実施した。25周年を記念した事業としては、有名講師を招いての講演会等を中心し、下記の☆マークの通り、屋外を活用した内容や、インターネットを介しての内容に変更した。また、リニューアルした1階遊具やスペースシアターを活用した企画についても、1日での実施回数を複数回に分かる等、三密を回避しながら実施した。

(☆…開園25周年記念事業) (★…リニューアル遊具及びシアター関連企画)

月	日(曜)	事業名	参加人数
4		新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休園のため全ての企画事業を中止	
5		新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休園のため全ての企画事業を中止	
6	21(日)	① オンライン☆サイエンス～表面張力で遊ぼう!①～(オンライン)	19人
	21(日)	② さぬきこどもの国で日食を見よう!(スペースプラザ)	240人
	30(火) 配信開始	③ セブティン～アクションヒーロー!おりひめ救出大作戦!～動画配信(オンライン)	265回
7	5(日)	④ セブティン～アクションヒーロー!おりひめ救出大作戦!～(芝生広場)	165人
	11(土) 12(日)	⑤ ★宇宙兄さんズと行く!宇宙研究ツアー&簡単工作(館内・子ども劇場)	61人
	7月23(木)～26(日)	⑥-1 ★キッズプラネタリウム～星空入学式～(スペースシアター)	194人
	26(日)	⑦ オンライン☆サイエンス～表面張力で遊ぼう!②～(オンライン)	23人
8	9(土)	⑧ お盆ってなあに?(劇場)	32人
	10(日)	⑨ さぬきこどもの国開園25周年記念式典～the 25th anniversary～(科学工房前)	50人
	10(日)	⑩ ★☆人類は月に行っていない!?アポロ計画の真実(シアター)	108人
	6月9(火)～8月31(月)	⑪ ☆さぬきこどもの国映えスポ!QRアドベンチャーVer.1(屋外)	22人
	7月1(水)～8月31(月)	⑫ ☆おうちから児童館VR クイズイベント(オンライン)	39人
9	13(日)	⑬ ★ダジック・アース～惑星探検隊!～(劇場)	94人
	21(月・祝)	⑭ SWJO JAZZコンサート♪(芝生広場)	600人
10	18(日)	⑮ ★やっぱり虫が好き。(劇場・シアター・科学工房前)	500人
	31(土)	⑯ ★GO TO台湾!!オンライン旅行(シアター)	49人
11	15(日)	⑰ みんなでDANCE!えがおでDANCE!(西ウィングスペースプラザ)	177人
	22(日)	⑱ Black Bottom Brass Bandライブ!(劇場)	166人
	23(月・祝)	⑲ 輝け☆中高生～季節の寄せ植え～(芝生広場東屋)	68人
	23(月・祝)	⑳ ★全国一斉 熟睡プラネタリウム2020(シアター)	105人
	9月11(金)～11月29(日)	㉑ さぬきこどもの国映えスポ!QRアドベンチャーver.2(屋外)	20人
12	5(土)	㉒ はぐくみカレッジ① 四国学院大学(劇場)	52人
	13(日)	㉓ おとのえほん～宮沢賢治の世界～(劇場)	184人
	19(土)	㉔ 木でつくる ゆらゆらウィンドチャイム(劇場)	48人
	20(日)	㉕ グラスハープコンサート(劇場)	101人
	27(日)	㉖ 年末花火納め～丸玉屋 花火師オンライントークショー～(劇場)	56人
1	3(日)	㉗ ★新春ことはじめ 新春三味線ショー in スペースシアター(シアター)	93人
	12月19(土)～1月11(月・祝)	㉘ NHK×科学館「すごい宿題～きみだけのひみつ～」(劇場前)	350人
	4月～1月にかけて実施	㉙ ★JAXA全国小・中学生絵画コンテスト ※応募館として協力(作品募集期間7月～9月12日)主催:文部科学省・JAXA他	25人
2	6(土)	㉚ はぐくみカレッジ② 香川短期大学(研修室)	241人
	14(日)	㉛ 工作マーケット(美術工房)	282人
	23(火・祝)	㉜ オンライン・サイエンス2～倒れないコマの不思議～(オンライン)	48人
3	6(土)	㉝ 日赤防災企画(芝生・研修室)※日赤香川県支部との共催(芝生広場・研修室)	249人
	14(日)	㉞ はぐくみカレッジ③ 香川大学(研修室)	353人
	20(日)	㉟ ★HAYABUSA2講演会&上映会～上坂監督が語るHAYABUSA 2つのミッション～(劇場・シアター)	119人
	21(日) 27(土)	㊱-2 ★キッズプラネタリウム～星空入学式～(スペースシアター)	158人

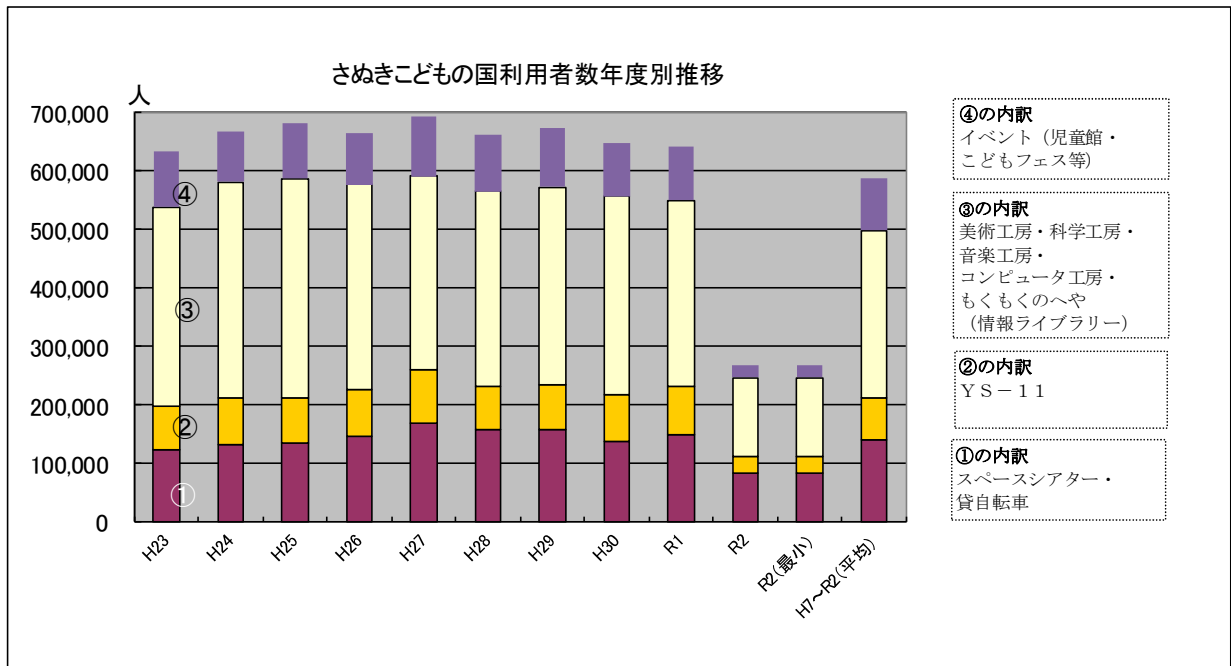
さぬきこどもの国利用者数年度別推移

(単位：人)

区分	来園者数		有料施設利用者数 (スペースシアター・貸自転車)		YS-11見学者数		工房等利用者数		イベント等参加者数	
	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数
H 2 3 年度	630,534	91	121,814	72	74,538	84	340,715	103	93,467	91
H 2 4 年度	664,809	96	128,929	76	80,285	91	370,227	112	85,368	83
H 2 5 年度	680,006	98	132,916	79	77,857	88	373,920	113	95,313	92
H 2 6 年度	664,372	96	145,493	86	80,330	91	349,412	105	89,137	86
H 2 7 年度	692,318	100	168,766	100	88,661	100	331,651	100	103,240	100
H 2 8 年度	658,782	95	155,803	92	75,205	85	333,052	100	94,722	92
H 2 9 年度	671,483	97	155,554	92	77,533	87	338,040	102	100,356	97
H 3 0 年度	645,287	93	135,468	80	81,155	92	337,888	102	90,776	88
R 元 年度	640,726	93	146,911	87	84,372	95	317,371	96	92,072	89
R 2 年度	264,956	38	81,801	48	27,445	31	135,736	41	19,974	19

注) 指数は27年度を100とした場合である。

参考	R 2 年度 (最少)	264,956	38
	H 2 7 年度 (最多)	692,318	100
	H 7 ~ R 2 年度 (平均)	587,200	85



公2 県立五色台少年自然センター及び県立屋島少年自然の家における給食管理等事業

3. 五色台事業所

(1) 提供する給食等の管理業務

8,195 千円

五色台少年自然センターにおいて、中学校集団宿泊学習に代わる体験学習（日帰り活動・出前授業の生徒（39校、延 4,649人）をはじめ、学校行事、子ども会活動など社会教育関係団体等の利用者並びに同施設が主催する事業の参加者に対し、提供する給食の食事献立の作成等、給食の管理業務を行った。

(2) 施設維持管理業務

2,681 千円

五色台少年自然センターのボイラー・公用車・寝具等の維持管理に関するを行った。

(3) 青少年の健全育成事業

178 千円

五色台少年自然センターとの共催により、青少年の健全育成に係る事業を行った。

五色台少年自然センターの宿泊利用者数

(単位：人)

利用区分		年 度				
		28年度	29年度	30年度	元年度	R2年度
集団宿泊学習	校数(校)	36	36	37	36	39
	宿泊利用者数(人)	12,910	13,977	11,586	11,552	4,649
	対前年度増減(人)	△ 5,039	1,067	△ 2,391	△ 34	△ 6,903
上記以外 (小・中・高校生、少年団体等)	団体数(団体)	68	49	58	55	17
	宿泊利用者数(人)	5,486	4,121	4,309	3,545	438
	対前年度増減(人)	396	△ 1,365	188	△ 764	△ 3,107
計	団体数(団体)	104	85	95	91	56
	宿泊利用者数(人)	18,396	18,098	15,895	15,097	5,087
	対前年度増減(人)	△ 4,643	△ 298	△ 2,203	△ 798	△ 10,010

※令和2年度は集団宿泊学習に代わる体験学習（日帰り活動・出前授業）等の実施校及び利用者数

令和2年度青少年の健全育成事業一覧

事業名	開催日	事業内容	募集人数	応募数	参加者
春の五色台を楽しもう	4月11日(土)	早春の遍路道を歩いて、郷土の文化や自然に触れる	8グループ	中止	中止
星を見る会	4月18日(土) ～3月20日(土) (全10回)	大型望遠鏡を中心とした天体観測	各回 10人	922人	93人
親子自然体験教室	4月29日(水)	小学生およびその家族を対象とした自然散策や植物観察	40人	中止	中止
	8月1日(土)	小学生およびその家族を対象とした化石レプリカ作り	6家族	226人	19人
	8月2日(日)	小学生およびその家族を対象とした草木染め	5家族	99人	19人
	12月12日(土)	小学生およびその家族を対象とした紙漉き	5家族	64人	10人
家族でCAMP	7月11日(土) ～7月12日(日)	テント泊、野外炊事を通じてキャンプの楽しさを味わう	各回 5家族	44家族	27人
	7月25日(土) ～7月26日(日)				
自然と遊ぶサマーキャンプ	7月23日(木) ～7月25日(土)	小学5年生から中学3年生を対象とした夏の五色台と屋島での体験活動(野外炊事、カッター体験等)	20人	中止	中止
流れ星を見よう	8月12日(水)	ペルセウス座流星群の観察	40人	250人	44人
実践アウトドア体験教室	11月1日(日)	野外活動初心者を対象に、野外炊事や自然散策などの体験	5グループ	52 グループ	21人
家族で昔遊びともちつき体験	1月9日(土)	昔から伝わる凧作り体験や、杵と臼を使った伝統的な「もちつき」体験	3家族	47家族	中止
天体望遠鏡教室	3月6日(土)	家族で楽しめる望遠鏡講座	4家族	15家族	3家族
家族でうどん作り	3月13日(土) 3月14日(日)	「いろいろの家」での手打ちうどん作り	各3家族	12家族 13家族	各3家族

※「春の五色台を楽しもう(4月11日)」、「星を見る会 第1回(4月18日)、第2回(5月16日)」、「自然親子体験教室(4月29日)」及び「自然と遊ぶサマーキャンプ」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

※「星を見る会 第3回(7月18日)、第6回(10月17日)、及び家族で昔遊びと餅つき体験(1月9日)」については、天候不良のため中止とした。

4. 屋島事業所

(1) 給食等の管理業務 5,278 千円

屋島少年自然の家において、「中学校集団宿泊学習に代わる体験学習（日帰り活動・出前講座）」の生徒（14校、延 1,712人）をはじめ、小学校やスポーツ少年団等の利用者及び同施設が主催する事業の参加者に対し、食事献立の作成等の給食の管理業務及び飲料水やクラフト材料等の提供業務を行った。

(2) 青少年の健全育成事業 11 千円

屋島少年自然の家との共催により、親子でのハイキング体験や自然観察活動など、児童・生徒が自然と触れ合う場を提供し、創造力の開発や自然に親しむ心の涵養など、青少年の心身の健全育成を図った。

屋島少年自然の家の宿泊利用者数

(単位：人)

利用区分		年 度				
		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
集団宿泊学習	校数(校)	26	26	28	26	14
	宿泊利用者数(人)	7,495	6,549	6,484	6,106	1,712
	対前年度増減(人)	△2,901	△946	△65	△378	△4,394
上記以外 (小・中・高校生、少年団体等)	団体数(団体)	170	168	181	184	74
	宿泊利用者数(人)	11,496	10,320	10,716	10,958	4,014
	対前年度増減(人)	1,800	△1,176	396	242	△6,944
計	団体数(団体)	196	194	209	210	88
	宿泊利用者数(人)	18,991	16,869	17,200	17,064	5,726
	対前年度増減(人)	△1,101	△2,122	331	△136	△11,338

※令和2年度は集団宿泊学習に代わる体験学習（日帰り活動・出前講座）等の実施校及び利用者数

令和2年度青少年の健全育成事業一覧

(単位：人)

事業名	開催日	事業内容	募集人数	応募数	参加者
親子でサマーキャンプ	7月18日(土) ～7月19日(日)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした体験活動(フライングディスクゴルフ、いかだ活動、海の生き物観察、野外炊事)	36	中止	中止
親子でカヌー	7月21日(火) ～7月23日(木) 8月20日(木) ～8月23日(日) (全7回)	小学生(1～3年生)とその保護者を対象としたカヌー教室	28	中止	中止
サマーチャレンジイン屋島	7月28日(火) ～7月29日(水)	小学5年生から中学3年生を対象とした夏の屋島での体験活動(野外炊事、いかだ活動、レザークラフト、カッター)	24	中止	中止
屋島で秋を探そう	11月29日(日)	小学生(3～6年生)とその保護者を対象とした秋の屋島での体験活動(フライングディスクゴルフ、勾玉作り)	20	33	18
ウインターチャレンジイン屋島	1月24日(日)	小学4年生から中学3年生を対象とした冬の屋島での体験活動(火起こし、焼きマッシュマロ作り)	20	16	15
親子で打ち込みうどん	2月20日(土)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした冬の屋島でのうどん作り体験活動	20	中止	中止
屋島で春を探そう	3月6日(土)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした春の屋島での体験活動(オリエンテーリング、クラフト作り)	20	121	19
親子でファイヤーマスター	3月14日(日)	小学5年生から中学3年生とその保護者を対象とした冬の屋島での火起こし体験活動	20	19	18

※「親子でサマーキャンプ(7月18日～19日)」「親子でカヌー(全7回)」「サマーチャレンジイン屋島(7月28日～29日)」「親子で打ち込みうどん(2月20日)」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。